



平成30年1月10日発行 (毎月1回10日発行)

函館商工会議所報

2018

1

No.412

と も え



CONTENTS

新春特集

～スポーツイベントを活かした観光振興～

青年部の提言による新幹線を活かした
念願のフルマラソン大会実現

新春紙上名刺交換 P 8

会員 Now P14

Member's Board P15



北海道・北東北の
縄文遺跡群を
世界遺産に

迎春

新年明けましておめでとうございます。
本年も昨年同様、自衛隊函館地方協力本部に対し
ご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。



～平成29年退職自衛官を採用いただいた企業様～

昨年も多くの企業様に退職自衛官を採用いただき、心より御礼申し上げます。

1月	学校法人東京理科大学 様	5月	学校法人野又学園 函館自動車学校 様
2月	株式会社高橋組 様	6月	野口観光株式会社 様
	株式会社マルゼンシステムズ 様	7月	一般社団法人 北斗市観光協会 様
3月	株式会社初スコ・ポイント北海道 様	8月	株式会社ほくやく函館支店 様
	函館日産自動車株式会社 様		函館商工信用組合 様
	ANA新千歳空港株式会社 様		株式会社マルゼンシステムズ 様
	東テク北海道株式会社 様	10月	株式会社初スコ・ポイント北海道 様
	津軽海峡フェリー株式会社 様		社会福祉法人函館緑花会美ヶ丘敬楽荘 様
	農業生産法人大原牧場有限会社 様	11月	東一函館青果株式会社 様
日本通運株式会社 大阪支店 様	一般社団法人匠和 様		
4月	医療法人社団輝秀会 平田泌尿器科 様	12月	介護老人保健施設ロイヤルビルズ 日吉 様

《退職自衛官採用に関するお問い合わせ取次先》

自衛隊函館地方協力本部援護課 道南地域援護センター
電話：0138 (32) 0488 (FAX兼)



と も え

1月号
(通巻412号)

謹賀新年

旧年中は格別のお引立てを賜り
厚く御礼申し上げます。
本年も皆様にとって、良い年であります
よう心からお祈り申し上げます。

■今月の表紙

特別史跡五稜郭跡



写真提供：小松 英海 氏

本所銭亀沢支所 電話番号変更のお知らせ

本所銭亀沢支所では、下記の通り電話番号が変更となりましたのでご案内いたします。

変更後電話番号 0138-23-1185

(現行の電話番号0138-58-3057は3月30日で使用終了となります。)

なお、FAX番号は変更ございませんので、これまでのFAX番号0138-58-3736を使用してください。

CONTENTS

2 年頭所感 函館商工会議所 会頭 久保 俊幸

4 新春特集

～スポーツイベントを活かした観光振興～

青年部の提言による新幹線を活かした
念願のフルマラソン大会実現

8 新春紙上名刺交換

14 会員 Now

●確かな技術と品質で“本物の衣裳体験”：函館 和・洋モダン貸衣裳館

15 Member's Board

●尾木咖喱
言葉の力

16 会議所のうごき

- 第2回臨時議員総会開催
- タイ観光客誘致訪問団
- 函館港若松地区クルーズ船岸壁整備事業着工式典
- 国土交通省「青函共用走行区間等高速化検討WG」
- 道南縄文文化推進協議会
- 20th Anniversary 2017はここでクリスマスファンタジー
- 2017はここでクリスマスファンタジー「ひろさきナイト」
- 第8回津軽海峡交流圏・大農林水産祭
- タックスフェア2017
- おもてなし英会話講座
- 第26回優良生徒表彰式・2017年全国そろばんコンクール
- 青年部
 - ・道央・道南協議会連絡会議函館会議
 - ・11月例会
- 女性会
- 銭亀沢地区女性部
- 本所1号議員補欠選挙当選告示
- 今後のうごき

22 第59回優良商工従業員表彰式

24 中小企業相談所だより

- マル経融資
- イカの加工原料不足・価格高騰等により影響を受けている水産食品製造業者への『利子補給制度』期間延長のご案内
- 個人住民税(道・市民税)の特別徴収のご案内
- 個別専門相談日程

26 確定申告会場開設期間等のお知らせ

27 新入会員ご紹介

法務局からのお知らせ(登記ねっと、電子証明)

28 全面広告

30 青森商工会議所会員事業所のご紹介

●(株)内海青果

広告掲載企業

自衛隊函館地方協力本部

道南縄文文化推進協議会

(独)中小企業基盤整備機構北海道本部

函館青色申告会

(株)JTB北海道函館支店

(株)天狗堂宝船

函館空港ビルデング(株)

(業)英知国際特許事務所

(独)中小企業基盤整備機構

新日本法規出版(株)

龍文堂印刷(株)

(株)近藤商会

函館市経済部労働課

函館市市民部市民・男女共同参画課

第8回パートナーシップ構築懇談会のご案内

道南縄文文化推進協議会賛助会員のご案内

平成30年度税制改正のポイント

表紙裏

裏表紙裏

裏表紙

P28

P29

段下

段下

段下

段下

段下

段下

折込

折込

折込

折込

折込

折込



2018 年頭所感

函館商工会議所 会頭

久保 俊幸

新年あけましておめでとうございます。

平成30年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年の函館市の経済状況は、観光分野においては北海道新幹線の開業効果が一段落しつつも、初の国内LCC路線として2月に就航したバニラエア効果で首都圏を結ぶ航空路線が堅調に推移し、青函間のフェリー利用者も増加基調にあるなど、新幹線の利用者減少をカバーしながら高水準で推移しています。民間設備投資や住宅投資は緩やかに持ち直しており、雇用状況も改善していますが、企業経営においては幅広い業種において人手不足が続いており、主力の水産関連業においてもスルメイカの不漁により依然として厳しい環境に置かれています。

これまで5年間、函館市と連携し取り組んできた中心市街地活性化については本年で計画期間が終了となりますが、昨年4月に竣工した本町地区再開発ビル「シエスタハコダテ」は多くの来店客で賑わい、周辺にも効果が波及しています。その一方で、これまで計画に基づき整備された施設のいくつかはテナント誘致がままならず、函館駅前地区の大規模小売店舗では閉店を検討する動きが報じられるなど、人口減少都市におけるまちづくりの難しさが顕在化しており、

各種の対策を関係機関が一丸となって早急に進める必要があると感じております。

定住人口減少に伴う経済規模縮小を抑制するためには、観光交流人口の拡大と、そこから獲得した収入を地域内で仕入・調達・発注して循環させ、地元企業の仕事と雇用を維持拡大させる企業活動が欠かせません。

例えば、本所青年部が中心となり開催実現に取り組んだ函館マラソン大会は、一回の開催で地元で5億6千万円の経済効果を創出するものとなり、観光振興に貢献したとして功績が認められ、昨年、全国515商工会議所を対象とする商工会議所観光振興大賞の「観光立“地域”特別賞」を受賞いたしました。また、同じく明るい話題としては、昨年、函館市が北前船寄港地の一つとして日本遺産に認定されたところであり、私たちが長年取り組んでいる「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録についても今年こそ実現されるよう、啓発活動や全国へのアピールを積極的に展開したいと考えております。海外からのインバウンド誘客には函館空港の国際定期便の充実化が不可欠であり、現在就航している台湾便に加え、過去に4路線を数えた中国との就航再開、今夏にタイエアアジアXによるLCCの新規就航が予定されているタイ、チャーター便が検討されているシンガポールな

ども、道内7空港一括民営化の動きを踏まえながら、引き続き取り組んで参ります。

長年の地域の悲願が成就した北海道新幹線は、実際に多大な経済波及効果をもたらし、地域の産業振興におけるインフラ整備の重要性が明確なものとなりました。ただ、現状の北海道新幹線利用者の約8割が観光客等で季節変動が激しく、持続発展のためにはビジネス客の増加が不可欠ながらも、首都圏と行き来するビジネス客のほとんどは所要時間が短い航空機を利用しているのが実態です。本所では引き続き、青函共用走行区間や盛岡以北の高速化による所要時間短縮、特急料金の割高感や在来線乗継不便の解消など、現状課題が一日も早く改善され、より多くの方々が利用しやすい新幹線となるよう働きかけを進めて参ります。また、建設が進む北海道縦貫自動車道や函館新外環状道路、函館・江差自動車道、12月に着工した函館港若松地区大型客船専用埠頭の早期完成、これら陸・海・空の交通基盤を有機的に結びつけた振興策も推進してまいりたいと考えております。

本所では、函館がこれからも元気で魅力ある街であり続けるよう、経済効果を持続させるための取り組みとして、今年度事業計画において

○バランスある産業構造の形成

- 主力の水産加工業等を中心とする2次産業の振興、発展の促進
- 北海道新幹線ならびにインバウンド効果を最大限に活かす観光関連産業振興、発展の促進
- 高速交通体系の進展による地場産業の広域展開（南進政策）
- 北海道新幹線を活用した東北・北関東等との連携促進と広域展開

- 北海道縦貫自動車道の七飯IC～大沼公園IC間の早期完成要請促進
- 函館新外環状道路の赤川IC～空港IC間早期完成要請促進

○人材確保と育成の推進

- 働く意欲のある高齢者・女性の社会参加の促進
- 関係機関と連携した地元就職への意識醸成

○近隣商工会との連携強化による、食・観光・物流における、域内および海外等域外への進出促進

○アジア各地域からの航空定期便等就航とクルーズ船誘致によるインバウンド観光の促進と受入態勢の整備・強化

○函館地域留学センター機構（仮称）の設立による留学生受入態勢の整備と国際化の支援

○国が掲げる地方創生に即した各事業の積極展開と関連団体との連携強化

○常議員会、部会、委員会活動の活発化と会員増強等組織財政基盤の強化

の基本方針を柱に据え、国や北海道、函館市など関係機関とも連携し、行動する商工会議所として地元中小企業が活発な経済活動を行えるよう各種事業を推進してまいります。引き続き、皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年は箱館戦争、そして北海道と命名され150年の節目の年となります。先達が切り拓き創り上げた北の大地と函館の街を後世の市民に受け継いでいくためにも、しっかりと地域の経済基盤を築いてまいりたいと考えております。結びになりますが、本年が皆様とご家族にとって実り多く、健康で幸せな一年となりますよう祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

青年部の提言による新幹線を活かした 念願のフルマラソン大会実現

日本商工会議所「平成29年度全国商工会議所きらり輝き観光振興大賞」 において本所が『観光立“地域”特別賞』を受賞

「全国商工会議所きらり輝き観光振興大賞」は、地域の個が光り他の範となる観光振興事業に取り組む商工会議所を顕彰するため、日本商工会議所が平成20年度より実施し、今年度で10回目となる表彰制度で、この度、本所は、「青年部の提言による新幹線を活かした念願のフルマラソン大会実現」という内容で準大賞に相当する『観光立“地域”特別賞』を受賞しました。

同表彰では、全国515の商工会議所から毎年8件前後が選奨され、前回まで79件が受賞、北海道からは5件目の受賞で、『観光立“地域”特別賞』は、道内商工会議所では初受賞となりました。



日商三村会頭から表彰を受ける久保会頭

【評価ポイント】

- 青年部の発案を商工会議所がサポート、関係機関等に働きかけ都市型フルマラソンを実現
- スポーツイベントにより、地域内経済循環をはじめ大きな経済効果を創出

今回の特集では、コース造成や運営体制、費用面等、課題が多く開催が難しいとされていたフルマラソン大会実現までの取り組みや経緯を改めて紹介するとともに、関係者らにこれまでの振り返りや今後の展望等を語っていただきました。

函館マラソン大会について

- ◎ 青年部の提言により創設活動が開始され、実現したフルマラソン大会（2011年4月活動開始、2016年6月実現）
- ◎ 定員計8,000名（フル4,000名 ハーフ4,000名）
- ◎ 観光名所を走る市内完結都市型フルマラソン（日本陸上競技連盟・国際陸上競技連盟公認）
- ◎ 梅雨がなく夏でも冷涼な地域特性を活かし、全国的にマラソン大会が少ない6月下旬～7月上旬の大会開催
- ◎ 青年部、函館市、道南陸上競技協会の三者が実行委員会運営の中枢を担う
- ◎ 本所が協賛金確保をバックアップ（会頭が函館マラソン大会協賛会会長）

フルマラソン大会実現までの取り組み

フルマラソン創設活動【1. 動機】

①実施が難しい都市型フルマラソンの開催が圧倒的な競争力に！

- 全国のマラソン大会開催状況

マラソン大会…1900件	フルマラソン…200件
日本陸上競技連盟公認…75件	都市型マラソン…30件

②地域経済への経済波及効果

1年間にフルマラソンを走る人は日本人口の約0.25%と言われ、函館都市圏では1,000名程度で、函館でフルマラソン大会を開催した場合、他のランナーは他地域から訪れ、その多くが前後泊、家族・友人・知人を伴い

→わずか1日間のイベントながら、参加人数・開催日数以上の経済効果を創出できる

③地元の背景と状況

- 「函館ハーフマラソン」はフル化を前提としていたが、コース造成や運営体制、事業費確保の問題から実現困難とされていた
- 青年部は、スポーツコンベンションの推進、誘致、振興に取り組んでおり、近年のマラソン愛好者の増加をチャンスと捉え、北海道新幹線開業を見据えた観光振興に活かすため、フルマラソン大会創設活動に着手
- 函館の観光は、景気や災害に左右されやすく、新幹線が開業したからといって、自動的に人が来続けるわけではない

→人が集まる仕掛けをどれだけ作れるかが函館の将来を左右する

フルマラソン創設活動【II. 経過】

- 2011年4月 青年部「フルマラソン検討委員会」が発足
 - 実現に向けた事例研究 ●啓発のための講演会開催 ●フルマラソンコース案の検討協議
- 2011年6月 青年部が函館市教育委員会に呼びかけて検討会議開始
- 2012年2月 青年部役員が会頭と共に市長を訪問、フルマラソン大会実現を要請
- 2012年4月 函館ハーフマラソン大会実行委員会内にフルマラソン検討部会が発足、部長には青年部副会長が就任
 - ➔北斗市、七飯町等の参画も得て、より広範に協議
- 2012年9月 将来のフルマラソン化を前提に函館ハーフマラソン大会の定員を2,000名から4,000名に拡大
- 2013年4月 青年部、道南陸上競技協会、函館市教育委員会の三者で引き続きワークグループを設置し、下記の主要課題を精査
 - コース調整 日本陸上競技連盟競技規則等に基づいた競技運営や安全確保
 - 市民理解 長時間に亘る交通規制等を伴うことから、市民理解が不可欠
 - 運営体制・事業費 スタッフ確保や運営組織体制の強化、財源確保等の運営基盤の確立が重要

➔主要課題の解決に向けて三者で協議

山積する難問を熱意で打開

課題

- ・道路使用許可
- ・市民理解
- ・億単位の開催経費
- ・ボランティア・スタッフの不足
- ➔フルマラソン開催は困難



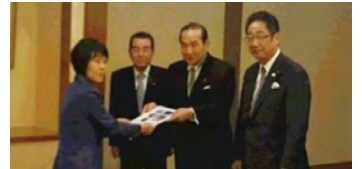
解決に向けた活動

関係機関と意見交換を重ね……………**熱心な働きかけにより道路使用許可が実現**
 検討部会の討議状況の周知・公開や青年部のPR活動等を経て……………**市民理解が浸透**
 函館マラソン大会協賛会を設立し……………**会議所の組織力を活かし、協賛企業を募る**
 町会や学校、企業等に協力を呼びかけ……………**ボランティア・スタッフを確保**
 ➔山積する難問を熱意で打開

2014年7月 2016年度のフル・ハーフ同時開催が正式決定!!

- 2015年8月 会頭・市長による北海道知事への協力要請
- 2015年9月 函館マラソン大会協賛会設立

▶高橋北海道知事へ
要望書を手渡す松本
名誉会頭



フルマラソン創設活動【III. 運営】

■フルマラソン大会開催PR活動



▲仙台国際ハーフマラソンにてPRを行う青年部



▲宇都宮マラソン大会にてPRを行う青年部

▶地元大会で沿道応援・PR活動



▶PRピンバッジやTシャツ・ランニングマツを制作頒布



■実行委員会が運営する公式ホームページ



▲随時最新情報が更新され、当日までランナーのモチベーションを高める

■大会前日の青年部主催「ランクリニック」



▲青年部中心にボランティア会に積極的に協力し、市民を巻き込んでエイド運営

■大会当日の給水所・エイド運営

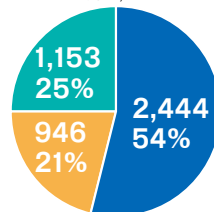


▲フードエイドでは、函館ならではの当地グルメ&スイーツを提供

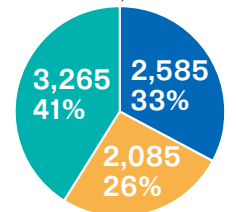
フルマラソン創設活動【IV. 成果・課題】

- マラソン参加人数の変化
2015函館ハーフマラソンと2016函館マラソンを比較すると、函館・道南以外からの参加（宿泊を伴うと想定される参加者）が
46%から67%となり、約3,300人も増加!!
- 経済波及効果（本所推計）
経済波及効果額5.6億円（直接消費額3.8億円）
- 参加者アンケートの評価
86.7点（2016大会は68.2点）
実行委員会が日本最大級のランニングポータルサイト「ランネット」に投稿された大会評価結果を取りまとめ、課題を明確化、次大会への改善に繋げる

2015 函館ハーフマラソン
■函館・道南 ■ほかに道内 ■道外・海外
登録者4,543人



2016 函館マラソン
■函館・道南 ■ほかに道内 ■道外・海外
登録者7,935人



2018函館マラソン開催決定!!
2018年7月1日(日)
フル・ハーフ同時開催!!

函館フルマラソン大会実現までの振り返りと今後の展望

函館商工会議所 会頭 久保 俊幸

長らく構想がありながら具現化出来なかったフルマラソンが、青年部による自治体や関係団体との協議、市民への情報発信等、地道な活動を経て、北海道新幹線開業と同年に実現できたことを誇りに思います。

来る7月1日に開催される2018函館マラソンにおきましても、美しい景色を楽しめるコース設定はそのままに、地元の食材を活かしたフードをコース各所で提供する等、レース環境の充実を図り、参加するランナーの皆様に一層ご満足いただけるよう、本大会の更なる発展を願っています。

北海道新幹線開業から3年目を迎えますが、今後も函館に人が集まる機会を作っていくことが重要です。交流人口の拡大に寄与する函館マラソンも、そうした取り組みの一つと捉え、本所としてもマラソン大会協賛会等の活動を通じ、今後も大会の円滑な運営を支援していきたいと考えています。

大会の開催に当たっては、3,000名もの大会運営関係者や200社もの協賛企業にご協力をいただいております。まさに地域一丸となって取り組む函館の一大スポーツイベントとなっています。2018函館マラソンの盛大な開催に向けて、本年も会員企業をはじめとする多くの皆様にご協力をお願い申し上げます。



函館商工会議所 副会頭 境 勝則
(函館マラソン大会協賛会会長)

今回の日本商工会議所『観光立“地域”特別賞』受賞は、協賛会としても大変嬉しいニュースとなりました。

当協賛会は、平成27年9月に設立され、前会長の松本名誉会頭を中心に精力的に活動を続け、本所の強みである組織力を活かした地元企業への資金・物品協賛の要請活動をはじめ、会頭・市長による北海道知事への協力要請等を通じて、大会の円滑な運営を支援してきました。前会長が築き上げた大きな基盤を損なうことなく、今後も青年部や実行委員会が財政面において安心して活動できるようサポートを続けていきたいです。

ハーフマラソン時代から続く函館マラソンは、市内において初夏を彩る道内を代表するロードレースに成長しています。梅雨がなく夏でも冷涼な地域特性を活かし、今後、全国的にマラソン大会が少ない6月下旬～7月上旬の大会として全国に浸透することや、1万人規模への定員拡大等、函館マラソンの地位の向上と発展を願っています。



函館マラソン大会実行委員会 委員長 岡部 壽一
(道南陸上競技協会会長)

平成3年から四半世紀に及ぶ歴史を重ねてきた「函館ハーフマラソン大会」は、この発意の段階から、フルマラソン化を目標として歩んでまいりました。フルマラソンの実現には事業費面をはじめ大きな問題を抱えましたが、函館商工会議所に「函館マラソン大会協賛会」を組織していただき、大会運営を強力にバックアップしていただくことで、平成28年6月26日、待望のフルマラソンを開催する「函館マラソン」として生まれ変わることができました。

新装なった当大会は、平坦で高速レースが展開される競技性の高いハーフマラソンの部に加え、高低差が大きい難コースでありながらエイドステーションではラーメンや海鮮丼、メロン等、北の幸の魅力でランナーを惑わせるフルマラソンの部も同時に展開されることから、他にない特色ある大会として全国的な認知度も高まってきております。

この実現は、必要物品並びに食材の調達や大会当日の運営スタッフとしての人材確保等、函館商工会議所青年部のご努力の賜物であり、フルマラソン検討段階より、函館商工会議所の皆様から多大なるご支援を頂戴してきましたことを、改めて感謝申し上げます。

結びに、当大会の目指すところは「日本一のマラソン大会」でございますので、皆様におかれましては、引き続き大会の更なる成長に向け、今後ともお力を存分に発揮していただきますようよろしくお願いいたします。



函館商工会議所 青年部顧問 齋藤 利仁

青年部「フルマラソン検討委員会」発足時に、当時の会長だった高野常議員より担当副会長に選任いただき、昨年4月まで函館マラソンに係る活動に取り組んでまいりました。

活動を振り返ると、当初は、道路使用許可や開催費用等の問題からフルマラソン開催は無理だろうという声が多かったのですが、当時、会頭だった松本名誉会頭が共に市長へフルマラソン開催検討を要請していただき、ハーフマラソン大会実行委員会内にフルマラソン検討部会が発足しました。その後、青年部メンバーによるPR活動や検討部会の討議状況の周知・公開等を経て市民理解が浸透し、本所内に発足したマラソン大会協賛会にご尽力いただいた結果、多くの協賛企業の協力を得て、フルマラソンが開催となりました。協賛会をはじめ実行委員会、青年部メンバー、そして、様々な形で私達をリードしていただいた松本名誉会頭には深く感謝申し上げます。

ハーフマラソン時代と比較すると、市外や道外からの参加者や同伴者の前後泊が飛躍的に増加し、本業のホテル経営では、その経済効果を肌で感じました。大会としての位置付けも、市民を対象とした大会から全国各地より多くの人を呼び込む街の一大イベントに発展したと思います。

マラソンブームにより、全国各地で大会が増えており、大会同士の競争が激化することも考えられますが、函館マラソンは、昨年の国際陸上競技連盟のコース認定に加え、美しい景観、豪華なエイドフード等の大会としての特色、函館の観光地としての知名度も踏まえると、今後も多くのランナーを函館に呼び込めるものと考えています。

青年部メンバーには、新たなアイディアを出し合いながら活動に取り組んでいただき、世界大会選考レースを究極の目標に、日本を代表するマラソン大会へと育てていってほしいと思います。



函館商工会議所 青年部会長 外崎 浩之

この度の日本商工会議所『観光立“地域”特別賞』の受賞については、諸先輩方の長年の活動が表彰という形で評価され、全国的に広く知られる機会となり、大変嬉しく思います。

2017函館マラソンの参加者アンケートでは、86.7点という高い評価をいただきましたが、まだ伸びしろがあるように思います。今後、大会の付加価値を高めていくには、運営上の諸課題改善や大会を盛り上げようという市民レベルでの機運の醸成だけでなく、大会前後の楽しみ、アトラクションを増やすことが重要です。

一昨年から大会前日に開催している青年部主催「金哲彦の体幹ランニングクリニック」は、多くの参加者からご好評いただいております。アトラクションとして有効であるだけでなく、大会の知名度拡大の効果もあることから、今後も、著名人のゲストランナーによる講演会やイベント等の企画を継続して行う必要があると感じました。また、大会終了直後に利用できる温泉施設や居酒屋等の“観光”と“食”の情報提供も重要です。青年部としても地元ネットワークを活かし、よりきめ細かな情報提供の方法を模索したいと考えています。加えて、昨年の国際陸上競技連盟によるコース認定や今回の『観光立“地域”特別賞』受賞等のニュースを知名度拡大に活用し、フルマラソン大会としての地位確立や国際的な認知度の向上に努めていきたいです。

最後に、私自身も昨年の大会にランナーとして参加しましたが、市民レベルで見ても美しい景観のコースや魅力的なエイドフード等、走りながら、改めて函館の魅力を堪能することができました。当市自慢の“函館マラソン”に、本年も多くのランナーのご参加を心よりお待ちしております。



今後のフルマラソン開催継続のために・・・



函館マラソンは多くの地元企業による協賛、市民や各団体のボランティアによって支えられています。フルマラソン開催継続のためには、地元企業や市民の皆様が必要です。特に、協賛金やボランティアスタッフについては、大会運営に大きく影響するもので、今後も安定した大会運営を行うため、会員企業をはじめとする皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今後も本所では、マラソン大会だけではなく、様々な事業を通じ、当地域の街づくりや経済活性化の推進に努めてまいりますので、本年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



頌

株式会社 布目
代表取締役社長

石黒 義男



浅野町四一七

函館エヌデーケー株式会社
代表取締役社長

石黒 恭二



鈴蘭丘町三一六三

函館タクシー株式会社
代表取締役社長

岩塚 晃一

日乃出町二二一三八

三井住友海上火災保険株式会社
北海道支店 函館支社長

岩瀬 力

若松町一四一〇
函館ツインタワービル十階

株式会社 ティオーホールディングス
代表取締役社長

小笠原 康正



港町三一八一一五

株式会社 中合棒二森屋店
執行役員店長

小賀 雅彦

若松町一七一二

有限会社 赤坂葬祭
代表取締役

赤坂 成二

大縄町二一〇

イシオ食品株式会社
代表取締役社長

石尾 清広

湯浜町一七

株式会社 北洋銀行 函館中央支店
常務執行役員支店長

飯田 祐司



若松町一五一七一一

株式会社 北海道新聞社 函館支社
支社長

伊藤 一哉

五稜郭町三一三

株式会社 松本組
代表取締役社長

大越 雄司

吉川町四一三〇



株式会社 JTB 北海道函館支店
支店長

岩山 明弘

本町六一七
函館第一ビル1階



株式会社 近藤商会
代表取締役社長

相川 良夫

西桔梗町五八九

春

(五十音順)

函館トヨパット株式会社
代表取締役社長

河村隆平

石川町一六九―三五

株式会社ホーム企画
代表取締役

角田隆芳



五稜郭町三五―一

株式会社丸伊小林建設
代表取締役社長

小林淳一

美原五―四四―二五

三井生命保険株式会社函館支社
函館支社長

久保木秀一

梁川町五―八

函館環境衛生株式会社
代表取締役会長

久保俊幸

金堀町五―二三

株式会社東京商工リサーチ函館支店
支店長

菅野征幸

本町六―七
函館第一ビルディング

株式会社青函設備工業
代表取締役

斎藤秀司

宝来町二三―五

社会福祉法人函館大庚会
特別養護老人ホーム松濤
施設長・常任理事

今千尋



松風町一八―一五

商工中金函館支店
支店長

小丸幹夫

若松町三一六

及明ビル管理株式会社
代表取締役

小林真樹

本通一―五―一三

株式会社トーショウビルサービス
代表取締役社長

境勝則

中道一―一―一二

株式会社今井工務店
代表取締役

斉藤善美

西桔梗町八四九―二二

ニューオーテ斎藤株式会社
代表取締役

斎藤利仁

若松町八―八

齊藤建設株式会社
代表取締役

齊藤大介

田家町一五―一二

頌

函館三菱ふそう自動車販売株式会社
代表取締役

佐々木 眞

昭和三―三二―二六

株式会社ニシカワ産業
代表取締役

佐川 貴一

桔梗町四〇六―四一

株式会社北陸銀行函館支店
支店長

嶋田 慎吾

若松町一七―一〇

株式会社丸み佐藤商店
会長

佐藤 止昭

新川町一―二五

佐藤電気工事株式会社
代表取締役

佐藤 征次

富岡町一―三九―五

株式会社アサヒ商材
代表取締役

佐藤 清治



神山三―四八―一四

株式会社富士サルベージ
代表取締役

須田 新崇

大町八―二五

株式会社鈴木商店
代表取締役社長

鈴木 新太郎

北斗市東前八五―六三

株式会社力ネス杉澤事業所
代表取締役

杉澤 光雄

西桔梗町八六三―一

龍文堂印刷株式会社
代表取締役

庄司 澄枝



日乃出町二八―二

株式会社竹田食品
代表取締役社長

竹田 寿広

浅野町三―一〇

株式会社道水
代表取締役社長

高野 元宏

豊川町二七―五

潮産業株式会社
代表取締役

外崎 浩之

西桔梗町五九一―三三

函館どつく株式会社
代表取締役社長

関川 義紀

弁天町二〇―三

春

竹村 隆

函館山ロープウェイ株式会社
代表取締役社長

元町一九一七

綱 良 司

株式会社つな生花店
代表取締役

鍛冶二二〇一二五

辻 秀 明

来夢ハウス
辻木材株式会社
代表取締役社長

北斗市七重浜八一九一二

田 村 勝 美

野村證券株式会社函館支店
支店長

本町三一―一五

田 島 英 久

北海道乳業株式会社
代表取締役社長



昭和三一六―一六

中 野 恒

五稜郭タワー株式会社
代表取締役社長

五稜郭町四三―九

中 田 俊 一 郎

株式会社高木組
代表取締役社長

東雲町一九一―一三

永 井 英 夫

株式会社エヌイーシー
代表取締役社長

SEC
末広町二二―一

富 田 秀 嗣

株式会社長門出版社
代表取締役社長

日乃出町一一―一三

野 村 裕 幸

フォーポイントバイシエラトン函館
総支配人

若松町一四―一〇

二 本 柳 慶 一

株式会社二本柳慶一建築研究所
代表取締役

青柳町三九―一二

成 田 眞 一

北海道ティーシー生コン株式会社
代表取締役社長

北斗市追分四―一二―五

成 澤 茂

成沢機器株式会社
代表取締役

宮前町一六―一

頌



税理士法人浜津会計事務所
代表社員 税理士

濱 津 隆

東雲町一八

道南うみ街信用金庫
理事長

藤 谷 直 久



江差町字本町一三二

株式会社工藤組
代表取締役

福 西 秀 和

石川町一六九一七

株式会社函館国際ホテル
総支配人

深 谷 浩 司

大手町五一〇

有限会社函館土質試験室
代表取締役

日 沼 直 之

上湯川町六七一一

函館日産自動車株式会社
代表取締役

三 野 正 博

石川町六〇

函館空港ビルデング株式会社
代表取締役社長

水 島 良 治

高松町五一一
函館空港内

函市函館魚市場株式会社
代表取締役社長

松 山 征 史

豊川町二七一六

ホンダカーブ南北北海道株式会社
代表取締役会長

松 本 榮 一

鍛冶二一三八一七

株式会社北海道銀行 函館支店
常務執行役員 函館支店長

村 上 多 聞

本町七一八

村山ギソー株式会社
代表取締役

村 上 岩 夫

入舟町一一七

東栄株式会社
代表取締役社長

棟 方 次 郎

西桔梗町五八九一〇七

山三伊藤商事株式会社
代表取締役

宮 崎 昌

豊川町六一九

春

株式会社村瀬鉄工所
代表取締役

村瀬 充

昭和一一三四一一

株式会社魚長食品
代表取締役

柳沢 政人

豊川町一二一一二
(〇一三八―二六一―八一―)

北海道ガス株式会社函館支店
執行役員函館支店長

八木 涉

万代町八一―

株式会社森川組
代表取締役社長

森川 基嗣

海岸町九―二三

函館バス株式会社
代表取締役社長

森 健二

高盛町一〇一一

函館商工信用組合
理事長

山本 富靖

千歳町九―六

株式会社NTT東日本―北海道 北海道南支店
取締役 北海道南支店長

山本 真作

東雲町一四―八

アクサ生命保険株式会社
函館営業所長

山田 裕之

本町八一―一八
ベストアメニティ五稜郭ビル

株式会社ホテル函館ロイヤル
代表取締役

柳沢 政人

大森町一六―九

株式会社はこだてティ―エムオー
代表取締役社長

渡辺 良三

若松町一八一―

金森商船株式会社
代表取締役

渡邊 政久

末広町一四―一二

有限会社吉田メディアカル
代表取締役

吉田 元

東雲町六一―

株式会社函館丸井今井
代表取締役社長

山本 広行

本町三二―一五





二人の思い出を彩る煌びやかな袴・振袖

会員NOW Vol.52

テーマ 確かな技術と品質で“本物の衣裳体験”

ギャラリーM.a.k 函館 和・洋モダン貸衣裳館

代表 真柄 周二

函館 和・洋モダン貸衣裳館

当館は、はこだて明治館2階に店舗を構える貸衣裳館で、平成27年6月にオープンしました。

古典的なドレスや侍・新撰組の着物等の観光写真用の衣裳、成人式や卒業式用の袴や振袖、結婚式用のドレス・タキシードや和装等、500着以上の貸衣裳を取り揃えています。衣裳のレンタルのほか、異国情緒漂う函館の街並みを活かしたロケーション撮影、家族写真や七五三・お宮参りの記念写真等のサービスを通して、お客様の素敵な思い出作りのお手伝いをさせていただいております。

最近では、台湾等の海外のテレビ番組や新聞・雑誌等で取り上げていただき、英語、中国語、台湾語、韓国語、オランダ語の五か国語に対応した当館ホームページは19カ国の方からアクセスいただく等、海外からも注目いただいております。貸衣裳サービスを通して、着物や袴をはじめとする和装等、世界に誇れる日本の伝統的な文化を広く伝えたいと考えています。

確かな技術と品質で“本物の衣裳体験”

当館では、確かな技術と品質による“本物の衣裳体験”を通じて、特に女性のお客様には、頭からつま先まで全



レンタルできる衣裳は500着を超える

身で“おめかし”を楽しみ、普段では味わえない非日常を感じていただくことを重要な仕事のひとつと捉えています。

当館では、オールシルク（正絹）の着物や本格的なドレス等、高品質で豪華な衣裳を取り揃え、ブライダル美容分野の技術を競う大会やコンクールで優勝する等、実力派スタッフ19名が在籍し、ヘアセット、メイク、着付けまでをトータルコーディネート、高級衣裳と一流の技術でお客様へ“本物の衣裳体験”をご提供いたします。

最近では、Instagramやフェイスブック等、SNSの普及により、写真を撮る、写真を残すという行為の重要性が高まってきているように感じます。その影響もあり、赤レンガ倉庫群をはじめ、公会堂、西部地区の教会等、観光スポットでのフォトウェディング、成人式や家族写真等の撮影サービスの依頼が増え、遠方から訪れるお客様も多く、美しい景観を持つ街としての函館の知名度を実感しているところです。



異国情緒漂うロケーションを活かしたウェディングフォト

今後の目標

人間らしい生活を送るには、「衣・食・住」が不可欠です。観光に置き換えると、新鮮な食材、おいしい料理を提供する飲食店、素敵なホテルや旅館等、函館は、「食」と「住」が充実しています。

当館では、“衣”の部分で「モダンな衣裳で函館散策」の提供をさせていただくと、函館観光における「衣・食・住」が揃うと考えています。今後も、お客様により楽しんでいただき、「函館に来てよかった」と大満足し、一生の思い出になるようなサービスの提供を目指してまいります。

Data

ギャラリーM.a.k 函館 和・洋モダン貸衣裳館
函館市豊川町11-17 はこだて明治館-2F TEL 0138-40-5120

Member's Board

おぎカリー 尾木咖喱

チキン、ビーフの旨みが溶け込んだ本格カレー

当店は、昨年12月にオープンしたカレー屋さんで、末広町、赤レンガ倉庫群の近くに店を構えています。

ほろほろになるまで蒸したチキンをたっぷり加えた“進化するチキンカレー”、チキンカレーに柔らかくてジューシーなチキンレッグを乗せたボリューム満点の“特製尾木チキカレー”、牛すじをトロトロになるまでじっくり煮込んだ“まじトロ牛すじカレー”の3種類のカレーを提供しています。

当店のこだわりは、厳選したチキン、ビーフの旨みを最大限に活かしたルー作りです。圧力鍋でしっかりと蒸したチキン、ビーフは、身が崩れるくらい柔らかく、肉の旨みが凝縮した出汁がとれます。それらを玉ねぎベースのルーに入れ、4時間以上じっくりと煮込み、1日寝かせて味を熟成、独自にブレンドしたスパイスの香りとチキン、ビーフの旨みが溶け込んだ本格カレーに仕上がっています。

辛さのベースは5段階あり、5以上の辛さも選べるので、甘口から激辛までご自分の好みの辛さでカレーをお楽しみいただけます。

追加トッピングは10種類あり、ブロッコリー、レンコン、ナスの素揚げや温玉、唐揚げや豚しゃぶのほか、ジューシーな肉汁が滴るステーキ等、ご自分の好みに合わせてお選びいただけます。



お店の外観…看板の船のマークは、西部地区のカレー文化の“開港”をイメージ



チキンの旨みが凝縮したカレーとジューシーなチキンレッグ“特製尾木チキカレー”

函館商工会議所
会員様限定優待券
尾木咖喱
下記のトッピングの中から
1種類無料サービス
※優待券は一度のお会計につき一枚まで使用可、4名様まで有効。その他のクーポンとの併用はできません。
トッピングの無料サービスは、下記のトッピングの中から1種類のみとさせていただきます。
使用期間：平成30年1月15日(月)～2月15日(木)

函館商工会議所会員様 限定優待情報

1月15日～2月15日までの間…

右記のトッピングの中から1種類を無料サービスいたします!!

ご注文の際に、右上の優待券をご提出ください。

※優待券は一度のお会計につき一枚まで使用可、4名様まで有効。その他のクーポンとの併用はできません。

トッピングの無料サービスは、右記のトッピングの中から1種類のみとさせていただきます。

無料サービスの対象となるトッピング

- ブロッコリー ●温玉
- レンコン ●納豆
- ナス ●豚しゃぶ
- 刻みオクラ ●鶏皮
- 唐揚げ

尾木咖喱

営業時間 11:00～17:00 (L.O.16:30)
※1月20日(土)よりディナータイムも営業

定休日 木曜日
TEL 0138-26-2333

住 所 函館市末広町14-3
備 考 駐車場4台有り

※満車の場合は、当店へご連絡下さい。近隣駐車場へご案内いたします。

優待情報については直接店舗へお問合せ下さい。

比較
双雲

言葉の力

自分と他人を比較しない。

比較したとしても、とらわれ
ないこと。

ただ観るだけにしよう。

書道家 武田 双雲

たけだ そううん
武田 双雲

1975年熊本生まれ。東京理科大学を卒業後N.T.Tに就職、約3年後に書道家として独立。NHK大河ドラマ「天地人」や世界遺産「平泉」、世界一のスパコン「京」など数々の題字を手がける。独自の世界観で全国で個展を開催。作品集「たのしか」「絆」など著書は40を超える。書道教室には約300人の門下生が通う(2005年新規募集締め切り)。2013年度、文化庁から文化交流使に任命され、ベトナム～インドネシアにて活動するなど、世界各国からさまざまなオファーを受ける。

公式ブログ「書の力」：<http://ameblo.jp/soun/>
公式サイト：<http://www.soun.net/>、感謝69：<http://kansha69.com/>

